

Infection control command system

感染予防総合調整システム

はじめに

感染予防総合調整システムは、ノロウイルス発生時に、インシデントコマンドシステムを活用し塩田剪庭園が開発したものです。

ご利用される方は、感染予防総合調整システムの著作権等は塩田剪庭園に属しますので、使用前に必ずご一報ください。

感染予防総合調整システム

感染予防総合調整システムは個人業者、一人親方でも全機能を適切に分け、全ての機能を運用できるよう開発したものであり、一つの感染予防行動のツールである。

また本システムでは、指揮、情報、共通交流、安全、広報、実行、後方支援の部門に分けて感染予防に取り組む。各機能が明確になっている事も踏まえ、これにより、錯綜しかねない感染予防策も適切に執り行うことができる。

第1章

指揮、部門の展開

感染予防総合調整システムは、事案の状況に応じて各機能を展開させる。

1. 指揮

1-1

感染予防策の全体を把握して、感染予防策などの意志決定を常に展開させる。同時に感染予防策を確立する。

1-2

指揮権を行使して感染予防策を実行させる。

1-3

感染予防及び感染拡大の予防という目的を統一させ、自社のみならず他業者や他者との協働的な感染予防戦略を展開させる。

1-4

一元化された情報を整理して、正しい情報を併せて感染予防策を展開する。

2. 情報

情報の一元化に取り組み、情報の錯乱を防ぐ。

3. 共通交流

提供される資源や情報のコンタクト先を展開する。

4. 安全管理

安全衛生管理を担い、使用案件を遵守する。

5. 広報

1-1

感染予防策など、情報を知らせる。

1-2

実施している感染予防等の情報を提供する。

6. 実行

実行部門において、あらゆる感染予防の実行コマンドを展開する。

7. 後方支援

感染予防対策の補給や用意を管理する。

第2章

フェーズごとの展開

感染予防総合調整システムは、変化する局面・状況ごとにフェーズとして展開する。

1. フェーズ0

展開の準備

- ・指揮の展開
- ・方針の確立
- ・優先事項の決定
- ・情報収集

2. フェーズ1

配備

- ・指揮者の決意表明
- ・後方支援の展開。
- ・材料手配等。

3. フェーズ2

部隊の展開

- ・あらゆる場面による感染予防の部隊展開。

4. フェーズ 3
感染の制圧

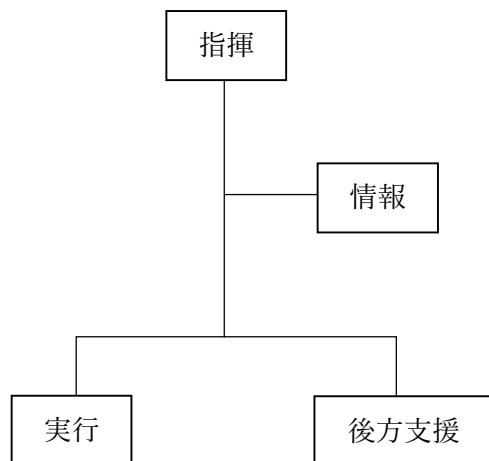
- ・全機能の展開による制圧。
- ・実行部門の拡大、各部門の拡充

5. フェーズ 4
安定化

- ・安定した状況へ移行させ、感染予防行動の維持に機関を移行させる。

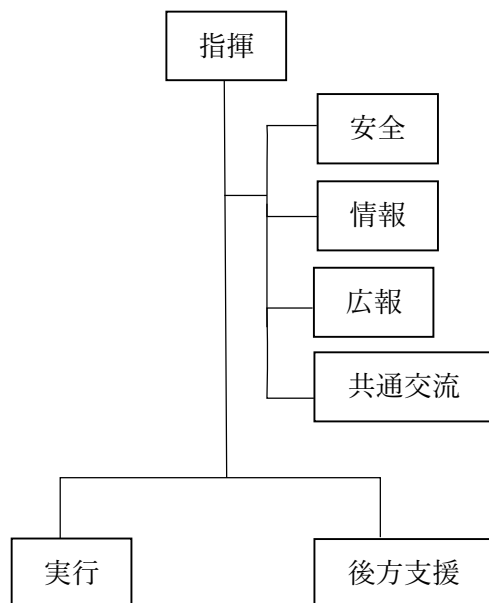
レベル 1

- ・状況把握が主な職能となるため、最小の機能にとどめる。
- ・感染地域、依頼状況把握
- ・後方支援は配備



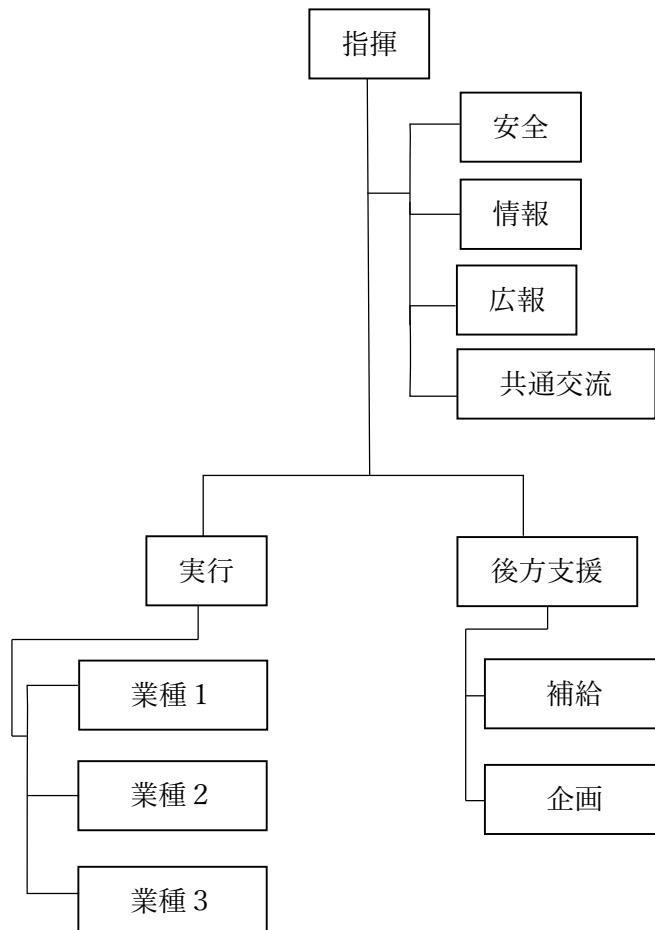
レベル 2

- ・指揮部門の拡充。
- ・情報収集が主となり、また今後の対策等について発信することが要となる。
- ・安全衛生管理の対策を重要視する。



レベル 3

- ・現場で把握対応、各作業種別に分ける。実行部門の拡大。
- ・後方支援は予防策計画定める



レベル 4

- ・実行部門は機能別と地域別に分けて、現場も地域別に振り分ける。
- ・機能別は各機能を職能別にしたものと、統一機能別にして、機能ごとに実行する。
- ・後方支援に人事機能を設ける。
- ・実行部門に設けられた現場拠点、拠点と現場移動車を決定する。移動車もここで限定させて、感染予防を徹底させる。

